

生活困窮者とともに支え合うボランティア 育成事業

特定非営利活動法人 ささしまサポートセンター
〒453-0065 愛知県名古屋市守山区靖国町1丁目94番地

助成事業の概要

1. 生活困窮者支援に必要な知識を得るための研修

- ①座学による集合研修「ささしまカレッジ」
 - ・ 8月25日 意外と知らない生活保護制度
講師：山田壮志郎（日本福祉大学社会福祉学部准教授）
 - ・ 10月6日 実は身近な精神障害
講師：西尾彰泰（岐阜大学保健管理センター准教授/産業医・精神科医）
 - ・ 10月26日 初めて学ぶ刑余者支援と依存症
講師：橋本恵一（ささしまサポートセンター事務局次長）
 - ・ 11月30日 つい忘れがち ボランティアする人の心のケア
講師：吉住隆弘（中部大学人文学部心理学科准教授）
 - ・ 12月20日 越冬セミナー（年末年始の越冬活動の説明会）

②先進地視察

- ・ 12月10日～11日 ライフラボ、相談支援事業所しぼふぁーれ（京都）
- ・ 3月17日 つくろい東京ファンド（東京）

2. 研修報告書兼活動ハンドブックの制作

上記①の集合研修の内容をもとにパンフレットを作り、ボランティア参加者に周知するとともに団体のホームページに掲載しています。

事業の成果

集合研修「ささしまカレッジ」にはのべ82名が参

加しました。（第1回：23名・第2回:20名・第3回:7名・第4回:13名・第5回:9名）当団体の活動（事務所や炊き出し会場での医療相談、サロン活動、学習支援など）にもボランティアや職員として参加している人を講師としたため、現場の状況に合った講演内容となるとともに、気軽に質問をすることもでき、参加者の満足度を高めることができました。また、研修では講演とあわせてグループワークも行ったため、ボランティア同士の交流を深め、日ごろの活動の疑問や悩みを共有する場ともなりました。

初心者からベテランのボランティアまで多様なメンバーが参加したことも良かったのですが、それぞれの知識にばらつきがあり、ある人は「専門用語が多く難しかった」という感想を持った一方、「基本的過ぎてやや物足りなかった」という意見もありました。次回からは研修の内容やテーマをもう少し絞って企画することも検討したいと考えるきっかけになりました。

研修内容をハンドブックにまとめることで、研修に参加できなかった人も学びの機会となり、これからの活動をより豊かにしていくことができそうです。

先進地視察には活動の中でも中心的な役割を担っているメンバーが参加しました。いずれも当団体だけでは行き詰まりを感じていた支援や活動についての知見を得ることができました。

京都視察では精神障がいを抱えた人へのACT（包括型地域生活支援プログラム）と呼ばれる支援の実践について学びました。行政や医療機関との関係づくりや、多様な支援機関との信頼関係を作り

つつ、制度やインフォーマルな支援を組み合わせ
て支援を組み立てていけるケアマネージャーのよ
うな業務を担える人の育成が課題と認識できま
した。

東京ではハウジングファーストの取り組みにつ
いて、物件の確保から生活支援まで、地域の不動産
会社や物件周辺の店、ボランティアとどのように
協働しているかを学びました。

■ 成果の広報・公表

座学研修の様子を団体のFacebookページ及び
ホームページに掲載するとともに、内容を1回ず
つパンフレットにまとめ、ホームページに掲載し
ました。パンフレットは現在活動しているボラン
ティアや、これからボランティアを始めたい人が
いつでも読んで学ぶことができるようにしていま
す。

先進地視察の報告を各現場のミーティングで行
い、活動メンバーに共有しました。

■ 今後の展開

2020年度も自主財源などを活用し、年に2～3回
の研修を計画しています。特に生活保護制度につ
いて学ぶ講座は、ボランティアからも継続して開催
して欲しいという声が強いため、今年も内容をアッ
プデートして開催する予定です。先進地視察につ
いてもテーマや参加者を絞って効果的な視察を企画
して行いたいと考えていました。

しかしながら、コロナウイルスの感染拡大防止とい
う観点から、実際には今年度の集合研修や視察の実
施は難しいと考えています。研修講師の講演を録画
し、動画（ビデオ）教材としてまとめられないか、
zoomなどを使った研修ができないか、検討を始め
ています。